

## 攻めと守りのIT戦略を実現する 「ファイナンシャル・サービスプラットフォーム」構想

～ 豊富な金融ソリューション群を共通アーキテクチャーで提供し、  
低コストでスピーディーな利用が可能に～

BIPROGY は、「ファイナンシャル・サービスプラットフォーム」の提供に向けた検討を本格的に開始しました。

本プラットフォームは、BIPROGY が長年、さまざまな金融機関に提供してきた金融ソリューションや外部サービスを、統一アーキテクチャーとして提供し、金融サービスを機能単位で低コストかつスピーディーに提供するプラットフォームです。金融機関が変化に柔軟に対応するための攻めのIT戦略と、安心して信頼性の高いサービスを実現するための守りのIT戦略を、両輪で実現します。

また、APIなどのサービスを機能単位で提供することにより、さまざまな企業の金融サービスを活用したビジネスの実現を支援します。

### 【背景】

近年、金融機関は、多様化した顧客ニーズや市場環境の変化にあわせた、多種多様な金融商品やサービスの提供が求められています。一方、金融業務システムは高い信頼性が求められつつも、長年にわたり多くの機能を追加し続けたことで、システム全体が複雑な構造になっており、新しい金融サービスを活用したビジネスへのチャレンジや、企業DXを進めにくい環境に置かれています。加えて、非金融業事業者が自社のビジネスに金融サービスを活用するニーズや事例が増加しつつあり、必要な金融機能を素早く提供できることが求められています。

BIPROGY は、これらの課題解決のため、自社の事業戦略に迅速に対応し、非戦略領域のITコストの最適化の両輪を実現する情報基盤として、「ファイナンシャル・サービスプラットフォーム」の提供を目指して検討を開始しました。

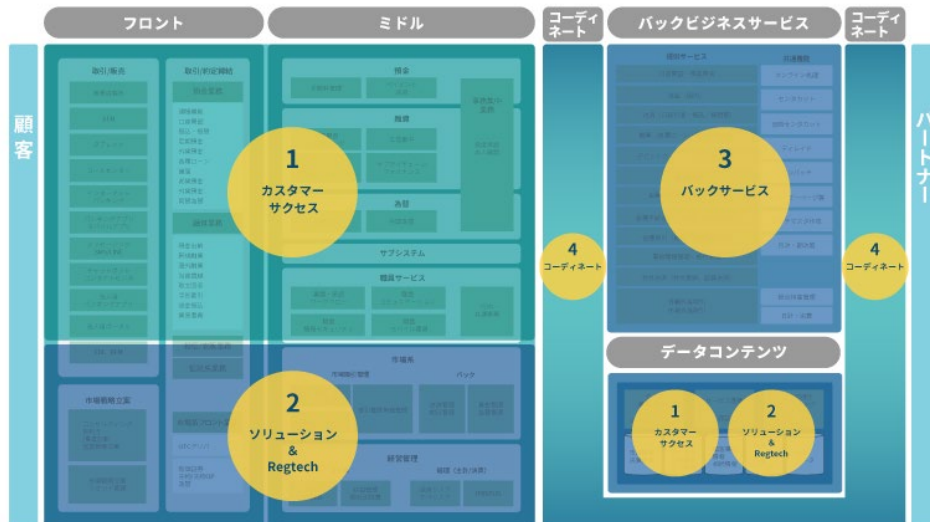
### 【ファイナンシャル・サービスプラットフォームの特徴】

#### ① 金融業務を幅広くカバーするアーキテクチャーマップ

BIPROGY が提供する多くの金融ソリューション群を先進の共通アーキテクチャーで統合し、機能別に提供します。機能単位でのAPIなどを活用することで、オペレーションレスや、データの一元管理による統合的な規制対応、顧客分析、地域特性分析などのデータドリブン経営を実現します。また、自社の経営戦略に沿った高い信頼性を持つサービスの利用が可能になり、業務全体も効率化できます。

本プラットフォームのアーキテクチャーは、攻めのITソリューションを提供し、発生したデータや提供するコンテンツを管理、分析する「カスタマーサクセス領域」、統合的な規制対応、各種報告などに対応する「ソリューション&Regtech<sup>※</sup>領域」、守りのフルバンキング機能を提供する「バックサービス領域」、これらを連携する「コーディネート領域」の4つの領域から構成されます。

## <本プラットフォームのアーキテクチャマップの概観>



※Regulation Technology:規制とテクノロジーを掛け合わせた造語

1 から 3 の領域ごとに、金融機関の IT 戦略に応じて独自で UI やロジックを開発、生成することができ、BIPROGY が提供する機能・サービスなども利用することができます。また、4 の領域を介して各種連携ができる構造とすることで、業務を横断した自動化やプロセス改善、利用者に合わせた利用シナリオをスピーディーに実装することができます。

### ② マルチクラウド時代の技術力

長年のオープン環境でのシステム提供やクラウド展開の実績を進化させ、攻めの IT 戦略を実現する自社の IT 戦略の独自性を開発できる機能と、守りの IT 戦略を実現する共通化と高信頼性を実現する機能を提供します。

#### ● 「1. カスタマーサクセス領域」

BIPROGY が提供している営業店システム、接客タブレット、バンキングアプリ、エンゲージメントアプリ、DataLake、DMP (Data Management Platform) など、金融機関と顧客（消費者、法人取引先）のタッチポイント強化のソリューションをさらに強化します。金融機関と顧客と BIPROGY が Win-Win-Win の関係を目指しデザインや操作性を優先し、各種テクノロジーを組み合わせ提供します。

#### ● 「2. ソリューション & Regtech 領域」 「3. バックサービス領域」

BIPROGY が、BANKSTAR、BankVision、OptBAE などを実現した勘定系システムのオープン化、パブリッククラウド化 (BankVision on Azure) を通して培ったミッションクリティカルを実現する技術、知見を生かしたものです。

マルチクラウド、マルチプラットフォーム環境下での、高可用性の担保、トランザクションやメッセージの制御、きめ細やかなロギングなどを実現することで、信頼性の高いサービス提供を可能とします。

#### ● 「4. コーディネート領域」

各領域の API の連携、フローの制御などを行います。また、クラウド上のオープン API プラットフォームである Resonatex で API を外部公開することで、異業種サービスや SaaS など、さまざまなパートナーとの柔軟な接続、システム連携を実現します。

### ③ ビジネス開発と IT 人材育成でのパートナーシップ

金融機関が、IT を強みとした金融サービスやビジネスを広げるためには、多様なパートナーシップとそれを支える人材が重要になります。

BIPROGY は、社会課題を解決するビジネスエコシステムの構築に取り組んでおり、業種横断のビジネス創出プログラムの提供や、IT 人材育成のための IT 開発力を高める環境、IT 教育メニュー、人材交流プログラムの提供など、新たなパートナーシップづくりを進めています。

#### 【今後の取り組みとビジョン】

BIPROGY は、本プラットフォームの標準アーキテクチャーや、消費者や法人取引先との間で、CX（顧客体験）を通じた深いつながりを築くサービスや、マルチクラウド環境で高い信頼性を持つ新しいコアバンキング（勘定系システム）をはじめとした、各サービスのロードマップを提供していきます。

また、本プラットフォームの提供をとおして、従来の金融サービスの効率化を進め、金融サービスを越えた今後の金融機関の新しい価値創造を支援することで、豊かな社会を創出します。



以上

#### 【SDGs 達成への貢献】

BIPROGY は、デジタルの力とビジネスエコシステムを活用した課題解決の仕組みづくりに取り組んでいます。ファイナンシャル・サービスプラットフォームを提供することで、金融機関のデジタル活用を推進し、環境負荷軽減と経済の持続を支援し、SDGs 目標の達成に貢献します。



#### ■ 関連リンク

- ・ファイナンシャル・サービスプラットフォーム  
<https://www.biprogy.com/solution/lob/fs/fsp.html>

※記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

[https://www.biprogy.com/newsrelease\\_contact/](https://www.biprogy.com/newsrelease_contact/)